

《 農業委員会事務局 平成30年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

事務局長 村井 治夫

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

農地を守り、農業と地域を支えるために農地法等関係法令に基づいて、農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の活動を補佐し、農地の取得や権利の保護、農業上の効率的な利用を図るための調整を行います。
所有者や耕作者の地位の安定と農業生産力の増進を図るために、許認可業務や農地利用の最適化推進を適正に行います。

【重点事項】

農業委員ならびに農地利用最適化推進委員の業務を適正に行っていただくために、研修や図書提供などにより、資質の向上に努める。
統合型(庁内向け)GISを活用することにより、機能の向上と経費の削減を図る。
適正な窓口対応や相談業務、申請の指導などのため、職員の研修参加や図書購入を実施する。

【見 積】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成30年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	16,453	15,601	農地行政の適正な執行機関として、行政へ意見書の提出を行い、農地法に基づく許認可と地域農業の構造改革ならびに農地利用の最適化の推進を図るための経費を見積りました。
合 計	16,453	15,601	

【前年度】平成29年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	17,363	16,555	
合 計	17,363	16,555	

【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
農業委員会事務局	▲ 910	▲ 954	コピー使用料の減、システムリース料の減
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 910	▲ 954	

